



What's Up, OITA!

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

2026年1月12日～13日に台湾にて、国際・経済交流の促進、観光誘客、県産品の輸出拡大に向けた一体的なプロモーションを行いました。

～台湾プロモーション～

〈主な内容〉

- ・大分県企業誘致セミナーin台北
- ・公式レセプション「大分県のタベ」
- ・台湾日本関係協会訪問
- ・日本台湾交流協会訪問
- ・大分県産品トップセールス



「大分県のタベ」 会場ではブリの解体ショーも



大分県企業誘致セミナーin台北



台湾日本関係協会訪問



百貨店における県産品フェア



日本台湾交流協会訪問



News from Beppu City

別府市からのお知らせ

別府市
ホームページ



いつでもアートを楽しめる町・別府

アート・プロジェクト[ALTERNATIVE-STATE]

世界有数の温泉観光都市・別府。この町がいま、いつ訪れてもアートを楽しめる町となっていることをご存知ですか？
つい、写真を撮りたくなるような、著名なアーティストたちによるパブリック・アートが市内各所に設置されているほか、
会話劇や詩の朗読、音楽で構成される短編集のような音声作品も日英二ヶ国語で公開され、別府の町を巡りながら、
アート鑑賞と同時に楽しむことができます。いつもの温泉旅行にアートをプラスして、これまでにない新たな別府の
魅力を、ぜひ、感じてください。

■ 参加アーティスト

マイケル・リン／目[mé]／栗林 隆／内海昭子／中崎 透／トム・フルーイン／齋藤精一／サルキス／御徒町風

■ [ALTERNATIVE-STATE] 公式サイト <https://alternative-state.com/>



Photo by Shintaro Yamanaka (Qsyum!) ©Mixed Bathing World Executive Committee

News from Nakatsu City

中津市からのお知らせ

中津市
ホームページ



新名所が誕生！「からあげモニュメント」と日本唯一の花城



からあげの聖地・中津に新たなシンボルが誕生。道の駅なかつに登場した「中津からあげモニュメント」と八面山をバックに写真を撮れば、映えること間違いなし！



日本三大水城の一つ「中津城」が日本唯一の花城としてリニューアル！世界的な庭園デザイナー石原和幸氏が手がけたもので、四季折々の花と城郭を一度に楽しむことができます。

News from Hita City

日田市からのお知らせ

日田市
ホームページ



約1万発の花火が水郷ひたの夜空を彩る



第79回日田川開き観光祭

時期：5月23日(土)・24日(日)

最大の見どころ

2夜連続の大花火大会：盆地の地形による音の反響で、身体の内まで響く大迫力を体感できます。

水郷ならではのイベント：三隈川を舞台にした「ハンギリ源平合戦」やボートレースなど、川と親しむ企画が満載です。

日田の夏がここから始まる、熱気あふれる2日間です！



News from Saiki City

佐伯市からのお知らせ

観光まちづくり佐伯
ホームページ



佐伯市では、春の旬食として佐伯の海域で養殖される「佐伯本マグロ」を2023年からPRしてきました。今年度は、さらに春に美味しい魚介を追加して、「マグロ、フグ、ヒラメ、タイ、アオリイカ、アジ、マガキ」の様々な7つの味わいを市内16店舗にて、佐伯市自慢の地魚料理を楽しんでいただける「春のさいき津々浦々 おさかなめぐり」と銘打ちしたキャンペーンを行っています。ぜひご賞味ください。

※開催期間：2月14日(土)～4月12日(日)



あなたの活動を紹介!



今回は、大分県宇佐市出身で現在ロンドンに在住の川上慶大さんです。

「大分からも、海外に挑戦できる」——その選択肢を、もっと当たり前にしたい。

◆自己紹介

大分県のみなさん、こんにちは。宇佐市出身の川上慶大(英語名: Yoshi)です。私は大学卒業後、大分キャノン株式会社で4年、大分市役所で約3年半働き、その後イギリスの大学院へ留学しました。ずっと大分でキャリアを積んできた私が、なぜ今ロンドンにいるのか。今回は少しそのお話をさせてください。



◆「大分発、海外へ」を少しでも身近に

イギリスでは、世界トップレベルの大学院に留学している日本人50名以上と交流しました。しかし、そこで切なくなったことがあります。ほとんどの人が関東・関西などの大都市出身で、「大分で学び、大分で働いてから海外へ」というルートの人にはほぼいなかったのです。「地方からだ、海外は遠い」そんな空気を少しでも変えたい。それが私の原点です。

◆大学院での学びと「中津」との縁



留学先は、ロンドンにあるキングスカレッジロンドン(King's College London)です。実はこの大学、慶応義塾大学のモデルになったと言われています。そして大分には、その学びの原点を感じられる場所があります。お隣・中津市の福沢諭吉旧居・記念館です。諭吉翁が当時どのように学び、どんな視点で世界を見ていたのか——その一端に触れられる資料があります。大分とロンドンが、時を超えてどこかにつながっている。そう思うと、少しワクワクしませんか?ちなみに私の名前は「慶大(よしひろ)」で、自分でもこの縁には不思議な気持ちになります。

◆英語教育(TESOL)と現在の活動

大学院では英語教育(TESOL)を専攻し、第二言語習得の仕組みや英語の教授法を体系的に学びました。ロンドンの語学学校(International House London)での実習では、イタリア、ウクライナ、ブラジルなど10カ国以上の生徒に英語を教える経験も積みました。

現在は、日系機関のロンドン研究所で、海事分野におけるヨーロッパの最新動向を収集し、日本に発信する仕事をしています。同時に、約7年半かけて貯めた資金を投資して得た「英語学習のコツ」や「大学院留学」、「海外就職」などについて、X(旧Twitter)で発信しています。(Yoshi|英語のすゝめ @Yoshi_in_UK)

@Yoshi_in_UK→



◆最後に



大分の温泉、美味しいごはん、そして大分弁が恋しいです! 私は、英語を本気で学びたい人、そして海外に挑戦してみたい人を応援しています。もし「大分からロンドンへ来る予定がある」「海外挑戦について少し聞いてみたい」という方がいれば、ぜひ気軽にご連絡ください。

大分から海外へ。
その一歩を踏み出す人が、これから一人でも増えることを願っています。



このコーナーでは県人会の活動や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお知らせします。



佐伯市

老若男女問わず一日中楽しめる！

番匠おさかな館 & やよいの湯



イギリス国際交流員
ブーテル・ローザ

丸一日楽しめるお出かけ先として、道の駅やよいの「番匠おさかな館」と「やよいの湯」を訪れました。水族館とお風呂がセットになったお得なチケットもあり、充実した時間を過ごせました。



番匠おさかな館



2001年に開館した番匠おさかな館は、番匠川をテーマに地元の淡水魚や海外の熱帯淡水魚を展示しています。一部の水槽は屋外に設置され、魚たちは自然に近い環境で暮らしています。

地域と自然をつなぐ取り組み



オオイタサンショウウオから、外国の珍しい魚まで幅広い展示を通して、世界の自然の豊かさを感じられる水族館です。

オオイタ
サンショウウオ

さらに、自然観察会や川の安全講習などの活動を通して、展示だけでなく実際に自然に触れることもできます。



番匠“裏”おさかな館



現在、おさかな館の裏側をのぞく特別展(26年5/10まで)では、スタッフの一日の業務や使用道具を学べるユニークな展示を見ることができます。

(写真提供: 番匠おさかな館)



?!

また、「エサの匂いをかげるよ」、「水換え」などという面白い体験もあり、子どもから大人まで楽しめます。



やよいの湯



2浴大浴場 (開館当時)



ロウリュ (完成当時)

(写真提供: やよいの湯)

道の駅やよい敷地内にあるやよいの湯は、日替わりの和風・洋風のお風呂や、2022年にオープンしたフィンランド式 サウナ(ロウリュ)が特徴です。広い浴場と水の露天風呂で外の景色を眺め、サウナも気軽に楽しみました。

また、地元の方々が作ったグッズや三世代家族で訪れている姿を見ると、地域に根付いた温かい雰囲気だなと感じました。

“悪役” にされた魚？



誤解だよ。。。

ピラニア・ナッター

凶暴なイメージを持たれがちなピラニアは、実は臆病な一面もあるんです!館長によると、水槽の掃除のたびに端へ逃げていくそうです。



番匠おさかな館とやよいの湯に行ってみて、地域と環境を大切にする思いが強く伝わってきました。「穴場」のような落ち着いた場所で、大分の自然と地域の雰囲気に心を打たれました。

竹田市 × キリシタン歴史の足跡を辿る



韓国国際交流員
アンソヨン

キリシタン洞窟礼拝堂



礼拝堂内部

隣にある洞窟



キリシタンとはカトリックを信仰する人々のことを指します。日本の人口のうち、キリスト教徒は1%未満ですが、大分県には不思議とキリスト教の歴史が静かに息づいています。昭和28年に発見された洞窟礼拝堂は、禁教令が全国に布かれていた江戸時代、カトリック信者や宣教師たちが身を潜めた場所で、現在は「大分県指定史跡」として登録されています。

キリシタン資料館から徒歩で約10分。ここに着くと、聞こえてくるのは鳥のさえずりと風の音だけで、やわらかな日差しが静かに降り注いでいました。日が傾く頃、静かな洞窟を歩いていると、彼らの揺るがぬ信仰が伝わってきました。

「失うことのできないものを得るために、持っておけないものを与える者は愚か者ではない。」
ジム・エリオット(アメリカの宣教師)



1549年、サビエル宣教師の来日により、日本でのキリスト教布教が活発化しました。しかし、その後、禁教令下での迫害が強まり、信者たちは信仰を守り抜くため、独自の形態で信仰を継承する「隠れキリシタン」となりました。竹田キリシタン資料館は、彼らの歴史やキリシタン史の遺物を保存・展示するため、平成28年(2016年)に開館しました。コロナ前は九州外や海外からも多くの来館者が訪れ、団体訪問も盛んだったと館長は当時を振り返ります。この歴史の一片が、このまま忘れ去られることなく、ここを訪れる人々の足跡が、再び増えていくことを願っています。

様々な展示



初宣教師
フランシスコ・ザビエル

キリスト教を禁止しろ!



禁教令による迫害下でキリシタンが十字架やイエス像を仏像に隠した様子

竹田キリシタン資料館



〒878-0012
大分県竹田市
竹田町581



天領日田おひなまつり

アメリカ国際交流員
リン・アリシアナ



みなさん、毎年春に日田でおひなまつりが開催されることをご存知ですか？
2月15日から3月31日まで開催の「天領日田おひなまつり」の期間中に日田を訪れました。期間中は、歴史的な旧家や資料館など約15か所に、約5,000体のひな人形が展示され、日本国内外から多くの観光客が訪れます。日本最大級のひな人形ミュージアムである「ひな御殿」へ向かう途中、豆田町の古い町並みに飾られたひな人形や提灯を楽しみました。



ひな人形ミュージアム ひな御殿

こちらに展示されている「おきあげ雛」は紙と布で作られたひな人形で、庶民の間で親しまれていました。江戸時代後期から明治時代にかけて、地元の女性たちによって作られたそうです。人形は細い竹の棒で支えられ、この部屋の人形は、それぞれ衣装や繊細な表情が丁寧に作り込まれていました。全てが手作りのため、一体一体を完成させるのにどれだけ長い時間がかかったことでしょうか。とても美しく仕上げられていました。



「黄金の間」には、常設として日本最大級の十段飾りがあり、さまざまな種類のひな人形や、多くの雛道具が展示されています。小さな食器や布団、着物、さらには楽器まであり、とても可愛らしかったです。一つ一つ丁寧に作り込みが感じられ、制作にかけられた手間がひしひしと伝わってきました。



立ち雛を見るのは初めてでした。女雛は何枚も着物を重ねて包まれていて、とても暖かそうに見えます。男雛は両腕を広げた姿をしていて、より立派に見せるためなのか、あるいは女雛を守っているかのように感じられました。

最近では人気キャラクターをあしらったひな人形も増えているそうです。

ひな人形ミュージアムでは、祭りの期間が終わった後も人形が展示されています。

春の訪れとともに、ぜひ足を運んでみてください！



住所: 大分県日田市豆田町13-6

開館時間: 9:00~17:00 (最終入館16:45) ※休館: 元日

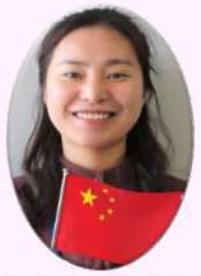
入館料: (個人) 300円 (団体) 200円 (20名以上)

※詳しくは施設までお問い合わせください



退任挨拶

中国国際交流員
金函宇



春めいた風が頬をかすめ、「また一年巡ってきたな」としみじみ感じます。

この一年は純度の高い日本酒のように、少量ながらも濃厚で、文字に収めるのはとても難しいですが、謹んで最後の挨拶を申し上げます。

「大分に来てよかった」

不慣れだった春が過ぎ、夏に入ると学校交流が活発になりました。打ち解けて話し合う子供たちを見守りながら、通訳の現場で元気をもらっていた私は、大学時代通訳者を目指した頃の初心に戻りました。月に一回のフリートークは、私にとってオアシスです。「先生」と呼んでいただいていたが、皆さんこそ私を豊かにしてくれる先生でした。県内取材で少しずつ大分を知り、「おおいた」という友人ができました。県外でとり天の看板を見ると、「とり天は大分のものなんだよ！」と意地を張るようになりました（笑）。

「理解が深まった」

ある朝、日本人の同僚から「カップに水が残っていたので、地震が来たら危ないと思って捨ててしまったけど、大丈夫でしたか？」と声をかけられました。中国では気にも留めないことが、日本では災害に備えるための常識。恥ずかしく思いながら、異文化理解はこうした日常にこそ根付いているのかもしれないと気付かされました。それ以来、席を離れるときには必ずカップを空にしています。異文化理解が深まるほど、自文化理解も深まります。春節や漢字について中国を紹介するたびに、記憶の奥にある匂いに癒やされます。一方で、知識の足りなさを痛感し、周りに話を聞き資料を調べ、今まで以上に自国のことを知るようになりました。遠く離れていますが、この一年ほど祖国を近くに感じたことはなかったと思います。

こうして振り返ると、異文化の中で暮らすということは、大きな出来事よりもこうした日常の積み重ねなのかもしれません。帰国したとき、逆カルチャーショックを経験するでしょう（笑）。それも、また異文化交流の趣きの一つですね！

「ありがとう。またいつか！」

着任挨拶を綴る時のウキウキがまだ鮮明なのに、退任が近づこうとしています。きっと、この一年の出会いによって成長し、別れによって豊かになれるでしょう。大分での生活を糧に次に進みたいと思いますので、笑顔でお別れをしましょう。

最後に、お世話になった豊後の地、そして職場と県民の皆様へ感謝申し上げるとともに、謹んで大分のさらなる発展を祈念致しまして、私の退任挨拶と致します。

ありがとう、大分。

またいつか！



From our Reporters

国際交流員だより



ポジティブを探しに(≧▽≦)ノ

イギリス国際交流員
ブーテル・ローザ



最近読んだ心理学の本で“日々ちょっとポジティブを意識することで、だんだんポジティブなことに気づきやすくなるという考え方がある”ということを知りました。それ以来、毎日を「ポジティブなことを見つける機会」だと思って過ごしています。町を散策していると、商店街のアーケードの光、道に並ぶ動物の像、路地で迎えてくれる猫に出会うと、心が癒されます。私はロンドンで生まれ育ったため、落ち着いた町をゆっくり歩くという経験がほとんどありませんでした。はじめは、このような環境で本当に暮らしていけるのかと不安もありましたが、今や大分は落ち着いた雰囲気だからこそ、普段は見過ごしてしまうような小さなことに気付ける場所だと感じています。

今後も大分県の魅力を、じっくりと味わっていきたいと思います。



ドームから朝のひかり



紳士的だね!



猫ちゃん見えるかな?



「おおいた」と聞こえた瞬間

中国国際交流員
金 函宇



国際交流員の仕事を今年で終了すると決めてから、心のどこかに小さな寂しさや不安に思うこともあります。「たった一年で意味があったのだろうか」と。

そんな中、ある日ラジオから「次は、大分の〇〇さんからです」という声が聞こえてきました。その瞬間、「あ、おおいただ!」と思わず顔を上げてしまいました。人混みの中で実家の地名を耳にすると、「あ!」と振り返ってしまうのと同じ感覚です。なるほど!「袖振り合うも他生の縁」私にとって、「おおいた」はみんなの笑顔、静かな街並み、オフィスの日差し。とり天は大分のものと思っていたのに、よそで見ると腹立たしく思ったり…(笑)唯一無二の思い出が蘇る親友になりました。広大な世界の中で、素敵につながりがもう一つ増えました。



大分のホンモノのとり天



大分の文字について反応



お世話になったソニック

From our Reporters

国際交流員だより



爽やかな春のサイン、イチゴ!

韓国国際交流員
アン・スヨン



寒い冬を越え、春を感じる瞬間といえば、イチゴを見た時です。春を待ちながら白い花が咲き、爽やかな春が近づいているサインでもあります。本来イチゴの旬は春から夏にかけてでしたが、最近はハウス栽培が主流となり、12月でも頻繁に見かけるようになりました。ビタミンCを豊富に含み、風邪予防など健康にも良いのが特徴です。甘酸っぱい味わいと春の香りをまとったイチゴは、私が一番好きな果物です。日本と韓国のイチゴは、形や味に違いはありますが、どちらも甲乙つけがたいほど香りが豊かで、とてもおいしいです。特に、8年の歳月をかけて開発された大分のブランドイチゴ「ベリーツ」は、甘酸っぱくて、あっという間に食べ終わってしまうほど!

それでは、ビタミンC補給もかねて、春を迎える準備にイチゴを買いに行きませんか。



韓国のイチゴ (ツタルギ)



大分県産イチゴ

ノジョン
元国際交流員の盧知榮さん
(2020~2025勤務) からのお手紙



恋しい大分のみなさん! 私は今ソウル近くで言語とコンテンツを結ぶ仕事をしていいますが、大分愛は変わりません。そんな想いを込めて記事を書きました。

私の告白、受け取ってくれますか?

《クレアソウル
Another Sky-第2のふるさと-》



今年はより慎重に!

アメリカ国際交流員
リン・アリシアナ



母はよく、「自分が生まれた干支の年は一番危ない年だ」と言います。体調や周りの状況に気をつけて、危ないことはしないようにとも言われてきました。正直、ただの中国の迷信だと思っていましたが、今年は少し違う気がします。

普段、大事な物を紛失することは滅多にないのですが、今年に入り、ひと月で2度も失くしました。まず、ゲームセンターでたくさんチョコレートが取れたことが嬉しすぎて、その場に財布を置き忘れ、その次の週には、バス停付近で落としたスマホが、車に轢かれて粉々に割れてしまいました。幸い、どちらも戻ってきましたが、スマホはもう使えません(泣)

この出来事を通して、今年はずっと以上に慎重に行動しないとイケないと思うようになりました。

もし午年生まれの方がいたら、お互い今年は特に気をつけましょう!



この時はまだ大喜び♪



中身も無事に戻りました!



車に轢かれて大破したスマホ